

山形県の道路

THE ROAD of YAMAGATA PREFECTURE

2026

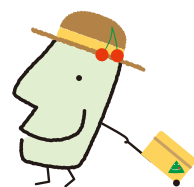


(国)344号 (安田バイパス工区)



(国)121号(災害復旧) (入田沢工区)

山形日和。



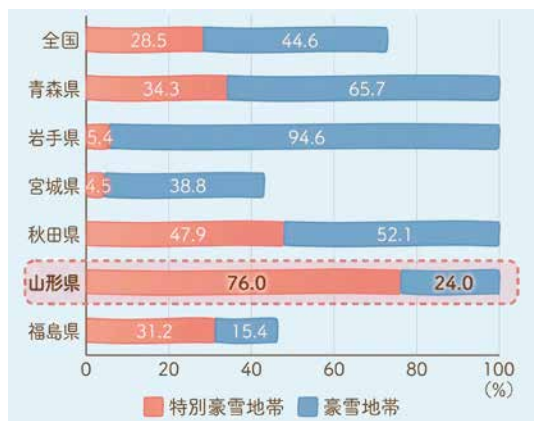
山形県の現状・特色

自然条件

山形県は、日本百名山に数えられる蔵王、月山、鳥海、吾妻、飯豊、朝日の秀麗な山々に囲まれ、その間を「母なる川」最上川が流れています。

夏は全国有数の暑さとなる一方、冬は県全域が豪雪地帯（うち76%が特別豪雪地帯）に指定されているため、内陸部を中心に積雪も非常に多く、東北でも有数の厳しい自然環境を有しています。

■東北各地の豪雪地帯指定状況（面積比）



資料：豪雪地帯の現状と対策2015（平成28年3月）
国土交通省 国土政策局

山形のいちばん

さくらんぼ収穫量は、統計開始から50年以上連続で日本一です。他にも多くのフルーツや山菜が全国トップクラスの生産量を誇る、日本有数の農業王国であり、豊かな食文化が生んだ「ご当地ラーメン」や、県内全市町村に湧き出る温泉、そして日本一の数を誇る滝など、訪れるたびに新しい感動に出会える魅力あふれる県です。

さくらんぼ

収穫量 **全国比 75%**
8,590t（全国値：11,500t）



(1)

西洋なし

収穫量 **全国比 70%**
17,800t（全国値：25,400t）



(1)

中華そば(外食)

支出金額 **全国平均の2.3倍**
17,726円（全国値：7,669円）



(2)※

コンニャク

支出金額 **全国平均の1.9倍**
3,120円（全国値：1,641円）



(2)※

滝の数(落差5m以上)

230箇所
（全国値：2,488箇所）



(3)

温泉

県内の全35市町村
すべてに温泉が湧出
（全国で山形県のみ）



(4)

資料(1)農林水産省「果樹生産出荷統計(第1報)」(2024年)、(2)総務省「家計調査(二人以上の世帯)」(2022～2024年の平均値)、(3)環境省「第3回自然環境保全基礎調査」(1989年)、(4)山形県環境エネルギー部みどり自然課「やまがたの温泉2025」 ※：山形市が日本一の項目(都道府県庁所在地及び政令指定都市比較)

自動車利用の状況

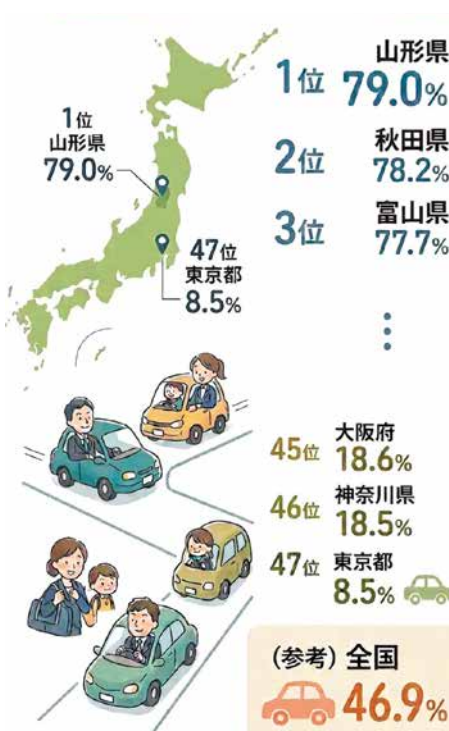
山形県は、人が居住できる面積あたりの道路延長が全国と比べて低い水準にある一方、1世帯あたりの自家用車保有台数や、車による通勤・通学の割合は全国トップクラスであるなど、県民生活にとって道路が重要な役割を担っています。

このため、地域の実情に応じて必要となる道路ネットワークの整備を進めるとともに、道路を安全で快適に利用するための計画的な維持管理に努めてまいります。

■1世帯あたりの自家用乗用車保有台数

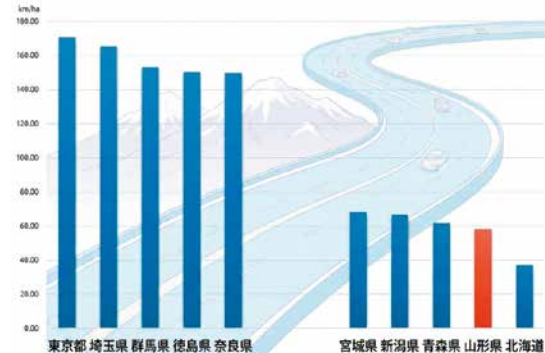
順位	都道府県名	保有台数
1	福井県	1.670
2	山形県	1.617
3	富山県	1.616
4	群馬県	1.558
5	栃木県	1.537
6	長野県	1.532
7	福島県	1.510
8	茨城県	1.508
9	岐阜県	1.506
10	新潟県	1.497
(参考)	全国	1.009

■自家用車による通勤・通学割合



山形市内の幹線道路

■人が居住できる土地の面積あたりの道路実延長



資料：政府統計(e-Stat)をもとに山形県作成
(道路延長は令和6年3月末現在)

(イラストは生成AIにより作成)

■県別自家用乗用車保有台数(人口1人あたり)



資料：都道府県別の自家用乗用車の普及状況
(令和7年3月末現在)【(財)自動車検査登録情報協会】

資料：国勢調査(R2)

県内の道路の現状・特色

橋・トンネルのTOP5 ※県管理施設

■橋梁延長トップ5

順位	橋梁名	延長(m)	路線名	市町村名	建設年	上部工の形式
1	出羽大橋 デ ワ オオ ハン	722.8*	(国)112号	酒田市	平成20年	鋼箱桁
2	庄内大橋 ショウナイ オオハン	606.0	(一)砂越余目線	庄内町	昭和60年	鋼鈑桁・鋼箱桁
3	村山橋 ムラヤマハン	532.7	(主)天童大江線	寒河江市	昭和55年	鋼箱桁
4	さくら大橋 サクラ オオハン	521.0	(一)久保桜線	長井市	平成19年	PC中空床版・鋼少数鈑桁
5	谷地橋 ヤチ バシ	499.7	(国)287号	河北町	昭和54年	鋼箱桁



出羽大橋

■長寿橋梁トップ5

*出羽大橋は、堤防を挟んで最上川・京田川の両側に架橋されており、記載の延長は最上川部上下線の平均値。

順位	橋梁名	橋齢(年)	路線名	市町村名	建設年	上部工の形式
1	吉田橋 ヨシダ ハシ	146	(一)原中川停車場線	南陽市	明治13年	石造アーチ*
2	小巖橋 コイワ ハシ	145	(一)原中川停車場線	南陽市	明治14年	石造アーチ*
3	大間橋 ダイカン ハシ	104	(一)綱木米沢停車場線	米沢市	大正11年	RC床版
4	東大海橋 ヒガシオオ ミ ハシ	102	(主)鶴岡羽黒線	鶴岡市	大正13年	RC床版
5	第1号橋 ダイイチゴウ ハシ	102	(一)米沢浅川高島線	米沢市	大正13年	RC床版



明治期の吉田橋

山形県立図書館所蔵資料

■トンネル延長トップ5

*吉田橋・小巖橋は、「山形の石橋群」として平成21年に土木学会選奨土木遺産に選定。

順位	トンネル名	延長(m)	路線名	市町村名	建設年
1	大峠トンネル* オオ トウゲ	3,940	(国)121号	米沢市～福島県喜多方市	昭和60年
2	大井沢トンネル オオ イ サワ	1,565	(主)大江西川線	大江町～西川町	昭和61年
3	境小滝トンネル サカイ コ タキ	1,248	(国)348号	南陽市～上市市	平成3年
4	白鷹トンネル シラ タカ	1,004	(国)348号	白鷹町～南陽市	平成元年
5	子持トンネル コモチ	976	(主)川西小国線	小国町	平成11年



大峠トンネル

*大峠トンネルは山形県区間2,205m、福島県区間1,735m。全区間福島県が管理。

日本一長いトンネルは山形にあった!?

明治14年に開通した栗子山隧道は、栗子峠に初めて開通したトンネルで、当時としては日本で一番長いトンネルでした。

平成29年に東北中央自動車道の一部として開通した現在の栗子トンネル(4代目)は延長8,972mで、無料で走行できる道路としては日本で一番長いトンネルです。



栗子トンネル



栗子山隧道



くわしくは
こちらから

命と生活を支える道路

緊急輸送道路

災害時、避難・救助や物資供給等の応急活動のために重要な道路は「緊急輸送道路」に指定されています。緊急輸送道路は、区域指定を告示した上で電柱の新設を禁止または制限することができます。



重要物流道路

平常時でも災害時でも安定して物資を輸送できる重要な道路は「重要物流道路」に指定されています。重要物流道路は、災害時の救援ルート確保や災害復旧を国土交通省が代行することができます。



山形県のみちづくりの方針と施策 ～山形県道路中期計画2028～

注1 県内産業や観光の振興を支える社会基盤となるみちづくり

▶ 広域道路ネットワーク、IC関連の道路整備、道の駅への支援など

注2 災害を未然に防止し安全・安心に利用できるみちづくり

▶ 県土強靱化、安全・安心な道路整備、施設の長寿化など

注3 既存ストックを有効活用し快適な暮らしと地域の活力を生み出すみちづくり

▶ 生活幹線道路、街なかの賑わい創出、道路ストックの利活用など



- やまがたの産業・観光をリードする「村山地域」道路ネットワークの充実と多重性確保
- 広域的な交流・連携を見据えた新たな活力を生み出す「最上地域」高規格道路十字連携軸の整備促進

- 観光・産業・文化が息づくまち「置賜地域」首都圏・隣県との連携強化と地域間交流の活性化
- 自然・文化・歴史をまもり地域産業をいかす「庄内地域」日本海沿岸地域と太平洋側を結ぶネットワークの形成

山形県高規格道路・一般広域道路網図

令和8年4月1日時点

凡 例

高速自動車国道	
供用区間（有料道路）	●
供用区間（直轄高速方式）	■
高速自動車国道に並行する一般自動車専用道路	
供用区間（有料道路）	○
供用区間	□
事業区間	□
地域高規格道路	
供用区間	■
事業区間	□
調査区間	○
調査中区間	○
一般国道自動車専用道路	
供用区間	■
事業区間	□
構想路線	○

● 地域活性化IC ○ 開発IC
() 書きICは仮称

道路種別

高規格幹線道路

地域高規格道路

一般国道（国土交通省管理）

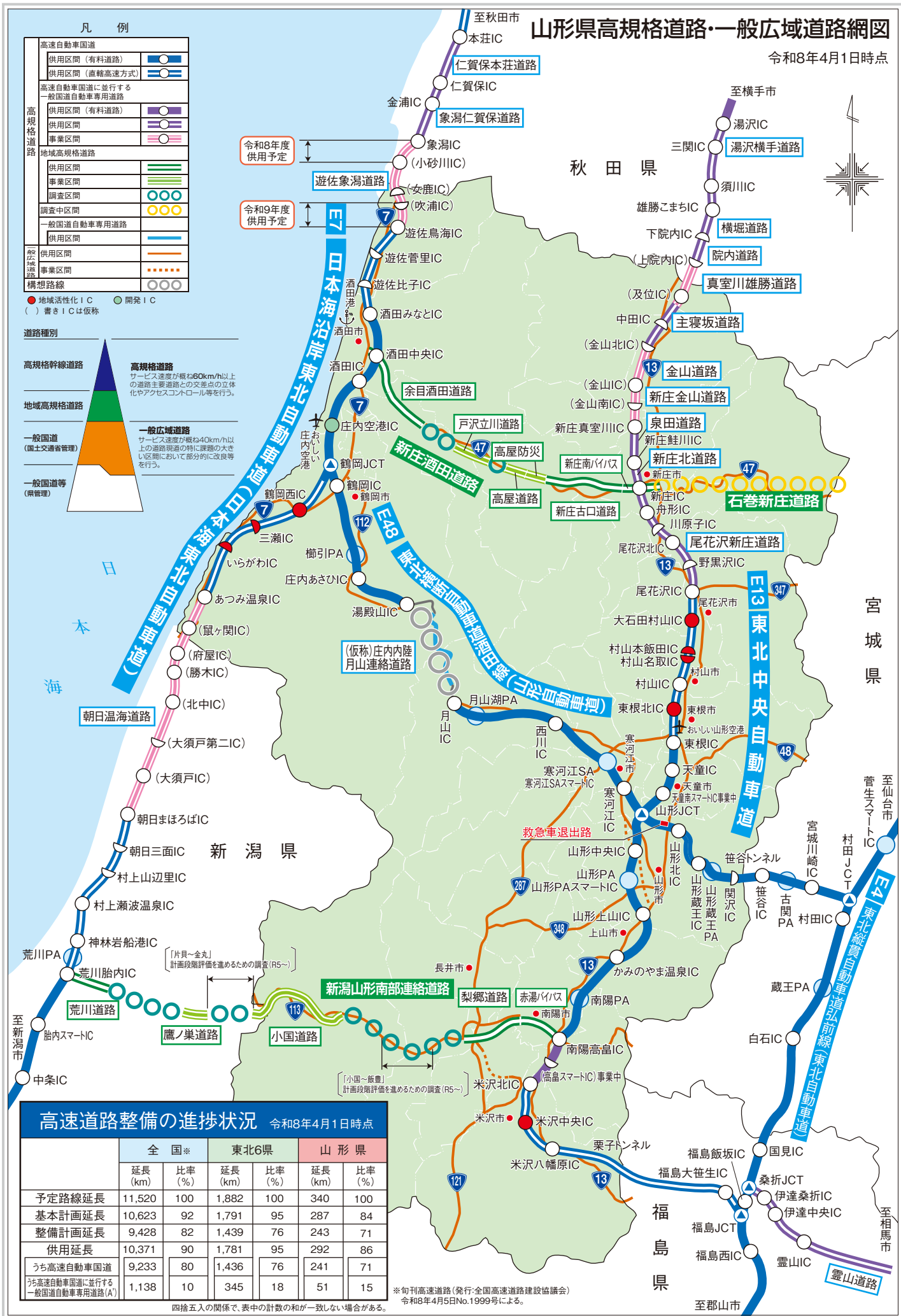
一般国道等（県管理）

高規格道路

サービス速度が概ね60km/h以上の道路主要道路との交差点の立体化やアクセスコントロール等を行う。

一般広域道路

サービス速度が概ね40km/h以上の道路主要道路との交差点の立体化やアクセスコントロール等を行う。



高速道路整備の進捗状況 令和8年4月1日時点

	全 国※		東北6県		山 形 県	
	延長 (km)	比率 (%)	延長 (km)	比率 (%)	延長 (km)	比率 (%)
予定路線延長	11,520	100	1,882	100	340	100
基本計画延長	10,623	92	1,791	95	287	84
整備計画延長	9,428	82	1,439	76	243	71
供用延長	10,371	90	1,781	95	292	86
うち高速自動車国道	9,233	80	1,436	76	241	71
うち高速自動車国道に並行する一般自動車専用道路(A)	1,138	10	345	18	51	15

四捨五入の関係で、表中の計数の和が一致しない場合がある。

※旬刊高速道路（発行：全国高速道路建設協議会）
令和8年4月5日No.1999号による。



山形県 県土整備部道路整備課

〒990-8570 山形県山形市松波二丁目8番1号
TEL (023) 630-2606 FAX (023) 630-2603



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

柱1 県内産業や観光の振興を支える社会基盤となるみちづくり

施策1 | 県土の基盤となる広域道路ネットワークの整備促進・機能強化と未事業化区間の着手

山形県内における高速道路の供用率は約86%(令和8年4月1日現在)であり、着実に整備が進んでいるものの、全国平均(約90%)や東北平均(約95%)を下回っています。

山形県では、高速道路が繋がっていない区間が5箇所存在することから、こうした未整備区間の早期解消と直轄国道等とのダブルネットワーク構築に向け、高規格道路の整備促進に取り組んでいます。



国道7号 遊佐象潟道路



国道13号 新庄金山道路



国道47号 高屋道路

施策2 | 広域道路ネットワークを活かす追加IC(スマートIC含む)及びICや拠点へのアクセス道路の整備推進

高規格道路を利用しやすくするため、ICアクセス道路の整備を推進しているほか、市町村が実施するスマートIC整備への支援(技術的助言等)を実施しています。

県内全域へのアクセス性向上により、県民生活の利便性向上、経済・産業活動の活性化、周遊観光の促進など、多様なストック効果の発現が期待されます。



山形PAスマートIC(山形市) R6.3開通



天童南スマートIC(天童市)

施策3 | 高規格道路から県内各地へのゲートウェイとなる「道の駅」等への支援

高規格道路から県内各地へのゲートウェイとなる「道の駅」について、整備促進に向けた市町村の取組みに関する支援(技術的助言等)を実施しています。

「道の駅」は近年、道路利用者の休憩だけでなく、地方創生や観光、防災といった多様な役割が求められていることから、市町村と連携しながら、「道の駅」の機能強化に向けた取組みを推進しています。



道の駅米沢(米沢市) H30.4開業



道の駅おおえ(大江町) R6.10 リニューアル

柱2 災害を未然に防止し安全・安心に利用できるみちづくり

施策4 | 防災・減災、県土強靱化に向けた道路の機能強化と災害発生時における対応の迅速化

激甚化・頻発化する自然災害に対しても、道路を安全・安心に利用できるようにするため、緊急輸送道路における橋梁の耐震化等を優先的に実施しています。

法面崩落や雪崩への対策など、道路の防災機能を強化するとともに、災害発生時における迅速かつ正確な交通規制情報の提供など、ハード・ソフト両面において、自然災害に強いみちづくりを推進しています。

■(主)山形朝日線 三河橋において耐震補強工事(落橋防止)を実施しました。



施策5 | 人にやさしく安全・安心な道路整備に向けた多様な取組の推進

山形県では、児童が安心して通学できるよう、学校関係者や警察、道路管理者による通学路の合同点検を平成24年度から毎年、実施しています。

■(国)347号(富並工区)において通学路の歩道整備を実施しました。



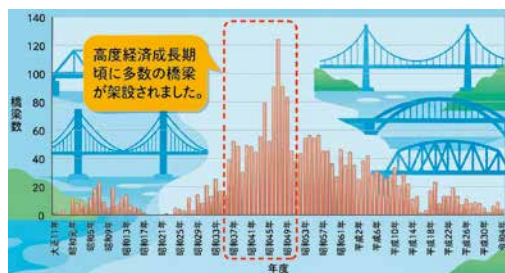
点検結果をもとに、各関係者が連携しながら、通学路の安全確保に向けた取組みを実施しています。

県(道路管理者)では、歩道整備やカラー舗装、防護柵の設置などといった対策を推進しています。

施策6 | 予防保全型維持管理等による計画的な道路施設の長寿命化と効率的な道路維持管理の推進

山形県が管理する橋やトンネルといった大規模構造物の多くは、高度経済成長期に建設されたものであり、更新(架替え等)のピーク時には多額の予算が必要となってしまいます。

■山形県の年次別橋梁架設数



■(一)福寿野熊高線 鳥川大橋において長寿命化(橋梁再塗装)を実施しました。



このため、損傷が進行する前に計画的に補修を行う「予防保全型」管理に向け、道路施設の長寿命化対策を推進しています。

また、道路の維持管理業務を効率化するため、AI等のデジタル技術を積極的に活用しています。

柱3 既存ストックを有効活用し快適な暮らしと地域の活力を生み出すみちづくり

施策7 | 生活圏間・都市間ネットワーク及び生活幹線道路の整備推進



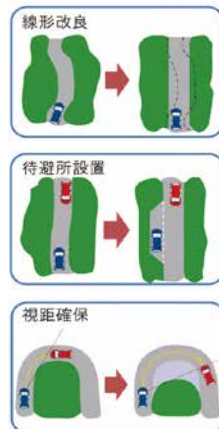
(主) 大江西川線 貫見工区

中山間地域等においては、生活圏間を結ぶ道路の拡幅やバイパス整備など、地域における快適な暮らしを支えるみちづくりを推進しています。

交通量が少ない道路や、地形的な制約のある道路等においては、部分的な拡幅や待避所の設置など、地域の実情に応じたみちづくりを推進しています。



(一) 浜中余目線 広野工区 (ラウンドアバウト)



施策8 | 街なかに賑わいを創出するみちづくりの推進



(主) 上山蔵王公園線 蔵王温泉工区

都市部を中心に、安全で快適な歩行空間の整備や無電柱化を進め、防災機能の向上と良好な景観の形成を図っています。

道路や広場など、既存の公共空間を再編・活用し、居心地がよく歩きたくなる道路空間等をつくることで、人々の交流や回遊を促し、まちなかの賑わい創出につなげています。

文翔館周辺におけるウォークアブルなまちなかの将来イメージ



出典: 文翔館周辺エリアウォークアブル基本構想 (令和8年3月)

施策9 | 山形の特性を活かした道路ストック(施設)をかしこく使うみちづくりの推進

山形県自転車活用推進計画に定める自転車ネットワーク計画路線において、冬季の堆雪幅を兼ねた自転車通行帯を整備するなど、“山形らしい”みちづくりを推進しています。

山形県渋滞対策推進協議会が選定した主要渋滞箇所において、車両のプロープ情報(移動データ)等を用いながら、ハード・ソフト両面での効果的な渋滞対策に取り組んでいます。

■ (主) 米沢猪苗代線(門東町交差点)において右折レーンの設置を実施しました。



広域的なサイクリングモデルルート



出典: 山形県自転車ネットワーク計画 (令和7年3月)

最近のトピック

国道344号 安田バイパス完成 ～緊急輸送道路の機能確保と歩行者安全の両立を実現～

第4次山形県総合発展計画

→国内外の活力を呼び込む多様で重層的な交通ネットワークの形成

山形県道路中期計画2028

→生活圏間・都市間ネットワーク及び生活幹線道路の整備推進

路線概要

酒田市街地と最上地方を結ぶ主要幹線道路
第2次緊急輸送道路および重要物流道路(国道47号)の代替・
補完路に指定

課題

現道：車道幅員狭小・歩道なし
▶冬期交通の交通障害など幹線道路としての機能不足
▶通学児童と車両が近接し危険

対策

集落の北側に新たなバイパス道路を整備
▶幹線道路の機能強化と集落内の生活環境の向上を実現！

(事業延長：L=3,080m、幅員W=6.5(9.5)[12.0]m 事業期間：平成27年度～令和7年度供用)



全体写真(真室川方面を望む)



児童が車道にはみ出して通学



冬季の交通状況



整備後(真室川方面を望む)

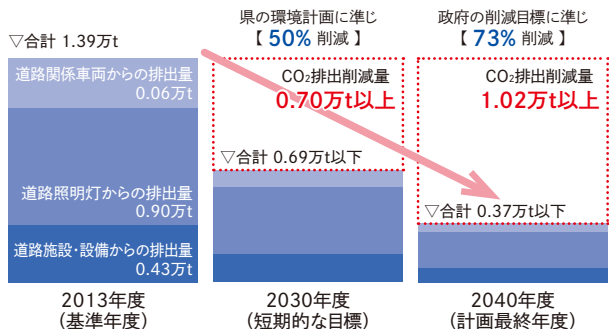


整備後(酒田方面を望む)

道路分野のカーボンニュートラルを目指して ～道路管理者・事業者・利用者の意識改革～

山形県道路脱炭素化推進計画(令和8年3月策定)

■道路管理分野の削減目標



2030年度まで削減を目指す
0.70万トン-CO₂はこのくらい！

- ▶ レジ袋**2億1,000万枚**の削減量
- ▶ スギの木**50万本**の年間吸収量
- ▶ **3,500世帯**の年間電力消費量
- ▶ ガソリン自動車**3,500台**の年間走行量



出典：(一社)環境エネルギー事業協会 (イラストは生成AIにより作成)

- ✓ 道路維持管理車両にEVなどの**次世代自動車**を導入します。
- ✓ 道路照明に高効率かつ長寿命化が図られる**LED**を使用します。(2030年度まで100%実現！)
- ✓ 道路施設の維持管理に太陽光発電などの**再生可能エネルギー**を積極的に活用します。
- ✓ **ICT(情報通信技術)**を積極的に活用し、道路工事や**除雪作業**を効率的に行うことで建設機械や車両の稼働時間を削減します。
- ✓ **地下水熱**や**温泉熱**を活用した消雪道路を整備することで除雪車両の稼働時間を削減します。
- ✓ 道路工事には**低炭素な材料**や**建設機械**を積極的に導入します。
- ✓ **渋滞対策**など低炭素につながる道路の整備を推進します。
- ✓ **高速道路の利用**を促し、一般道の交通の円滑化を図ります。
- ✓ 快適な**自転車利用環境**や**歩行空間**の整備を進め、低炭素な交通手段への転換を促します。



次世代自動車の導入



低炭素な資機材を用いた道路工事



除雪作業の効率化



高速道路の利用促進

(イラストは生成AIにより作成)